



ネットワーク大津 第36号



まぶしい日差しが照りつけるこの頃、お元気でお過ごしでしょうか。今年は梅雨明けが6/27頃と非常に早く、平年並みであった昨年(7/17頃)と比較して約20日程早く梅雨明けしました。当社では田植えの期間と梅雨の時期が丁度合致し、大豆播種の時期に梅雨明けということで作業自体は捗る形となっております。ただ、気象庁より6月30日、高温に関する「早期天候情報」が発表され、全国的(沖縄除く)に「10年に1度程度しか起きないような著しい高温となる可能性」があるとのこと。屋外での活動等では飲料水や日陰を十分に確保するなど熱中症対策を行い、健康管理に注意してください。

ネットワーク大津(株) 4、5、6月

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 4/23 農作業安全講習会(補助員) | 6/2 小麦収穫開始(6/7 終了) |
| 5/21 大麦収穫開始(5/29 終了) | 6/4 熊本育苗センター 水稻苗引取り開始 |
| 5/28 多収性品種「そらみのり」意見交換会 | 6/24 田植え体験 |
| 5/29 大津町役場・国家公務員職員研修 | 6/30 棚卸監査 |

定例取締役会：主な内容について

- 4/7 : 報告事項 年度・品目ごとの作業委託管理費明細書の配布について

今年度から12月精算・4月精算・5月精算の季節の精算を済ませた後に、品目ごとに「麦」・「大豆」・「飼料用米」・「WCS」・「飼料作物」・「自家用米を含む主食用米」それに6品目に分けることが出来ない「その他」を含め、これを明細書6枚で作成することにしました。

- 4/11 (臨時取締役会) 第1号議案 自家消費米について

カントリー運営委員会で令和7、8年産の自家消費米の対応案が提案され4月15日までに令和8年産主食用米の種子の注文が必要とのこと。構成員には飼料用米から主食用米へ作付を変更すると収益は減る可能性があります。もし主食用米の作付が増えと何かしら団地化が崩れるなど弊害が起きる可能性があります対策が必要です。

- 5/1 : 報告事項 資材注文について

資材の予約注文後に作付変更などで注文の変更が生じた際に各種対応をしていましたが、社内で検討した結果、次回的大豆資材予約注文から「予約は会社で受付し、当用の場合は個人の未収金口座の支払いとする」といった具合に対応していきます。その場合、支出がプール精算の場合に請求がプール精算の分と個人の未収金が発生する場合があるのでご理解ください。

- 6/2 : 報告事項 令和7年産水稻育苗納品について

通知文に「予定通りに来ない場合は、他に納品がなければ受付は終了します。納品できません。」と追加しました。主に個人で育苗を注文されている方に周知を行いました。

また、令和7年育苗は昨年より28円上がり通常苗664円と決定と報告。自家用苗や苗箱任せ苗も同額に値上がりしました。

令和7年産麦

令和7年産の麦は大麦・小麦共に収穫時期が昨年より遅く、大麦は5月20日頃から、小麦は6月2日頃からの収穫となりました。大麦については特に西部地区にて倒伏が目立つ状況で、収穫時期の降雨と相まって想定していた作業期間より間延びする形となりました。そのような中でも作業効率の向上と集落間での連携強化を目的に東部・西部で収穫の連携を取り事態に臨みました。特に東部集落は内牧を始めとした5集落の連携によるコンバイン10台の収穫体制という麦において初の取り組みを行い、大麦の収穫において1日あたり約20ha程度の収穫を実現させました。また、昨年から引き続き行っている大麦の施肥量試験にて「無施肥区は倒伏なし」という結果となり、施肥量と倒伏の関係性にまた一步迫れた検証となりました。

今年では麦の試験栽培にも取り組み、大麦「はるか2条」・小麦「はる風ふわり」を慣行品種と同様の栽培方法で管理し収穫しました。気候変動等に伴う麦の収量低下に対して品種から見直し、栽培体系を維持した形で収入の向上に繋がればと思います。



5/13 頃の様子

熟れていないよう見えますが、ミナミノカオリと同様に小麦荷受け初日の収穫が行えました。

TMR事業報告

今回の麦わら回収作業では天候や倒伏によりロールの回収量に不安を抱いておりましたが、藤森畜産への回収委託も合わせ結果的には大ロールを約1,100個、小ロールを300個程確保することができました。また、当社製品を使用しているお客様より、当社TMR100%で飼育した黒毛和種に高い等級がついたとの報告を受けました。血統の要因も大きいとは思いますが、当社製品を使用して良い結果を得られたことは素直に喜ばしいことであり、日頃製造に従事している社員への励みにもなります。今後もお客様に満足いただける製品を提供できるよう努めて参ります。

3月末時点での在庫数	
繁殖	171,089Kg
肥育	657,283Kg
搾乳	198,112Kg

	TMR(繁殖)		TMR(肥育)	
	生産量	出荷量	生産量	出荷量
4月	84,597 kg	79,404 kg	303,061 kg	270,521 kg
5月	33,880 kg	81,012 kg	234,023 kg	254,465 kg
6月	58,786 kg	75,735 kg	282,377 kg	260,448 kg
合計	177,263 kg	236,151 kg	819,461 kg	785,434 kg

	TMR(搾乳)		3ヵ月分合計	
	生産量	出荷量	生産量	出荷量
4月	56,650 kg	65,062 kg	444,308 kg	414,987 kg
5月	74,610 kg	56,404 kg	342,513 kg	391,881 kg
6月	81,672 kg	52,724 kg	422,835 kg	388,907 kg
合計	212,932 kg	174,190 kg	1,209,656 kg	1,195,775 kg

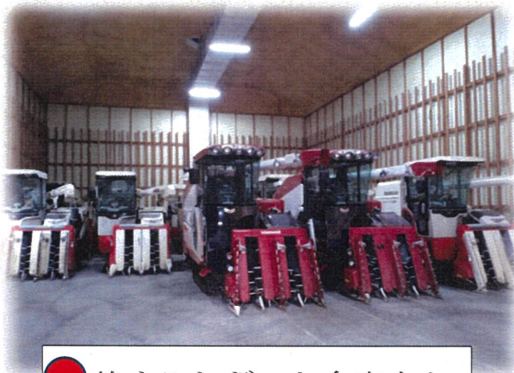


東部方面機械倉庫（第二格納庫）始動

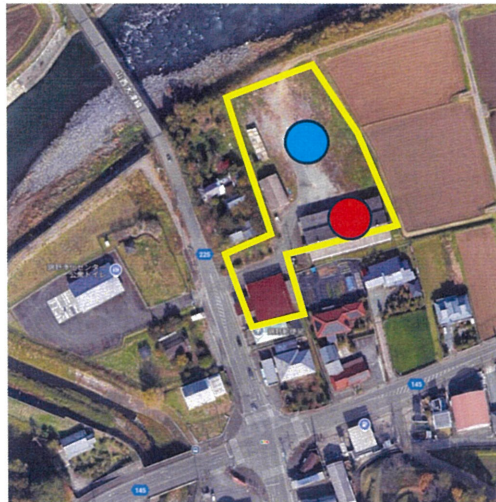
以前、JA菊池大津南支所として利用されていた施設（事務所・低温倉庫等の黄色枠）を当社で買い取り、東部地区機械の集約を行いました。これまで各集落の機械倉庫をお借りし、コンバイン等の作業機械を保管・運用していましたが、今後は旧低温倉庫に機械を保管し、東部地区の機械拠点として当施設を運用して参ります。また、倉庫北側の約30aほどある敷地は砂利等による整地作業を施し、ワラロールのラッピング作業やロール保管場所として活用しています。



● 雨水による水たまり対策として整地



● 埃まみれだった倉庫内も國武課長の力で新築同様に



導入機械紹介

当社が実証農家として参画した、省力化を目的とするアグリロボ田植え機（8条）2台を用いた「土地利用型スマート農業における現場実装モデルの構築」の実証期間（令和5～6年）を終え、アグリロボ田植え機NW8SA（無人仕様）2台が正式に導入となりました。また、「くまもと土地利用型農業競争力強化緊急支援事業実施要領」をもとに、熊本県のスマート農業技術導入支援による補助を活用して、昨年自動運転代かき試験に使用したものと同型のトラクター、ウイングハロー、ロータリーも同時期に納品され、今回からの代かき作業で運用を開始しております。尚、両機とも自動運転を行う際には専用の資格を有することが必須であり、現状ではメーカーの講義を受講した作業員が機能を利用することが出来ます。尚、自動運転を利用する際に必要な衛星との通信費用が永続的に発生するというものを踏まえ、スマート農業を取り組むうえでこれまでの農作業機械には無い新たな費用の理解、認識をしていくことも重要と捉えております。



導入した Agri Robo MR1000AH
機体前方の展開式センサースターが特徴です

田植え体験

6月24日に田植え体験を開催し、大津南小・陣内幼稚園・いちご保育園・大津保育園の4団体が参加しました。早朝に雨が降りましたが、田植え体験が始まる頃には雨も上がり田植え日和となりました。大人に教えてもらいながら一生懸命に植え付け、その後は泥んこ遊びタイムで全身泥まみれで楽しんでおられました。

最後に無人田植え機の実演を行い、ハイテクな機械に興味深々な子供達でした。イベント終了後に、小学生より「体験をしてみてもお米作りの大変さを感じました!」「お米のありがたみを感じました。」と発表され、良い体験になったのではないかと思います。

※JA菊池 大津中央支所よりみかんちゃんを提携して頂きました。ありがとうございました。



体験後の感想発表を受けたのは今回が初めてでしたので、参加者の所感等をその場で聞いたことは大変貴重でありがたかったです。



今後の予定

毎月 第1月曜日 定例取締役会

7/4 集落運営費の支払い

7/月上旬 令和7年作付麦の作業委託申込書の配布

7/中旬 稲わら契約書の配布

7/下旬 第1回水稻一斉防除

8/月上旬 下期監査

8/中旬 第1回大豆防除

8/下旬 第2回水稻一斉防除

9/2 第13回定時株主総会(予定)

9/下旬 SGS刈取り・製造作業開始



[お問い合わせ先] ネットワーク大津株式会社 熊本県菊池郡大津町陣内 427

TEL 096-285-4080 FAX 096-285-4909

HP <http://www.network-ozu.com>

発行責任者: 徳永浩二

広報責任者: 右田哲章